



Q せっかくの休日なのに工事。夜 中にしてくれたら渋滞がなくなるのに。

A

大きな音を伴う工事の場合は、周辺の住民の方にご迷惑がかかるため、昼間に行っています。

高速道路上を規制して工事を行う場合は、交通量の少ない夜間(深夜～早朝)に行なうことを基本としています。

しかし、阪神高速は都市部の密集市街地を橋梁構造で通過しているため、大きな音を伴う工事は、夜間に行なうことができません。*

阪神高速は平日の方が交通量が多いため、平日より交通量の少ない休日の昼間に工事を行うこととなります。

ただし渋滞の影響を軽減するため、可能な場所については低騒音工法を採用して夜間に行なっています。

大きな音がする作業の例



路面を削る作業の時に、大きな音が発生します。

*一部緊急を要する工事や大規模補修工事は除きます。

維持管理のために2時間以上の規制を伴う工事を実施した時間帯の割合(平成23年度実績)

なるべく夜間行っている作業(例)

補修工事で比較的音の小さい作業



舗装作業
コンクリート打設
低騒音工法による設備撤去(中央分離帯など)

昼間にしか行えない工事(例)



はつり作業

補修工事で大きな音が出る作業



39%



61%

設備や路面の点検作業



路面点検

設備のメンテナンス



案内表示板の設置

昼間行う必要のある点検作業



設備の点検

なるべく工事を集約化するなどして、工事渋滞を少しでも減らすよう努力しています。どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。